

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会 2020年度 事業報告書

I. 事業期間

2020年1月1日～11月30日

II. 事業実施方針

2020年1月1日から「一般社団法人日本臨床栄養代謝学会」へと学会名称を変更した。年会費の改定も実施し、新学会名称での新たな学術活動の船出を迎えた。

学術活動として代謝および栄養学の進歩普及を目的として、第35回学術集会、TNT研修会、各種セミナー（NST専門療法士受験必須セミナー、NST専門療法士更新必須セミナー、NSTベーシックコース）、LLL (Life Long Learning) ライブコース、JSPEN栄養マスターコースの開催を予定していたが、世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の感染拡大により、第35回学術集会については、国のイベント自粛要請に従い、集合型形式での開催を見送った。一般演題・要望演題・指定演題などの発表は紙上開催に切り替え、特別講演等の企画はオンライン配信による開催に変更した。

学術集会時に並行開催していた第1回NST専門療法士受験必須セミナー、第1回NST専門療法士更新必須セミナーは、会場開催を取り止め、オンライン受講に切り替え、本学会独自のオンラインセミナーの受講システムを構築し、2020年度の教育セミナーとして実施した。その後も緊急事態宣言、東京オリンピック2020の開催延期などの社会情勢を受けて、他学会の動向も注視しつつ、各事業の実施対応について見直しを図った。

特に第35回学術集会の集合型開催の中止は、感染拡大防止に向けた政府の方針に沿ってのぎりぎりの判断であったとはいえ、多くの方の研究発表の機会が失われ、講演を除くシンポジウムなどの主要企画も提供できない事態となった。第35回学術集会および理事会では、発表や諸企画の聴講と討論を可能とする機会の提供について検討を重ね、学術集会事業の受け皿としての「第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会」と称した場の提供を検討したが、緊急事態宣言解除後もCOVID-19の感染拡大は収まらず、医療従事者で構成される学術研究団体として、特別大会の開催は断念する最終決断を行った。支部学術集会の開催についても、各支部長、支部学術集会会長のご理解と協力のもと、全ての支部学術集会の中止もしくは延期の決定を行った。

NST専門療法士受験必須セミナー、NST専門療法士更新必須セミナーを除く、本学会主催のTNT研修会、NSTベーシックコース、LLL (Life Long Learning) ライブコース、JSPEN栄養マスターコースの各セミナーについては、中止とした。

機関誌発行については、「日本静脈経腸栄養学会雑誌」の2019年12月25日発行終了を受けて、本学会学会誌はe-journal「学会誌JSPEN」へ統一とし、年5号の発行を行った。

認定事業では、個人認定資格における認定医・指導医・NST専門療法士の更新申請の1年順延を決定し、この5年間の全ての本学会個人認定資格の認定期間を6年間とする対応措置を決定し、有資格者に対し案内した。なお、認定医・指導医・認定歯科医・NST専門療法士・暫定臨床栄養代謝専門療法士の各新規資格認定申請については、認定申請条件を満たすよう計画的に準備した会員が不利益とならないようにするため、資格審査（筆記試験を含む）を実施した。NST専門療法士認定制度では、NST認定教育施設の新規認定および認定期間更新を実施、学会の認める全国学会・地方会・研究会における2単位

研究会の活動状況調査を実施した。NST施設認定制度では、NST稼働施設の新規認定および認定更新審査を実施した。

組織体制については、2019年度に各種委員会の再編成を行い、18委員会、8 Working Group (WG)、9 Working Team (WT)、10プロジェクトチーム (PT)が、WEB会議システムを使用したオンライン会議を主体に組織活動を行った。

臨床栄養推進事業に関しては、ガイドライン委員会の他、臨床栄養コンセンサス検討委員会と実務チームとしての9領域(上述)のWTが臨床現場に役立つJSPEN独自の“コンセンサス本”の制作を進め、2021年に発行する。

本学会支部活動は、8支部に再編成した新支部制度が、2020年1月1日より新たにスタートし、各支部の協力のもと学会本体と軸を同じくして、より有機的な活動ができる土台づくりを開始する。

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 会員の研究発表会、学術講演会等の開催事業

① 事業名：第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会開催事業

(The 35th Annual Meeting of Japanese Society for Clinical Nutrition and Metabolism)

- ・ 内容：第35回学術集会は、COVID-19の感染拡大防止のため、国からのイベント自粛要請も受けて集合型での開催を中止した。研究発表は紙上開催に移行し、特別企画講演等は、学術セミナーを含め可能な限りの収録作業を行い、オンライン配信による開催形式にて、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学術的研究の発表を行った。さらに、研究発表や諸企画の聴講および討論を可能とする機会の提供について検討し、受け皿としての「第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会」の開催を企画検討したが、緊急事態宣言受けての国内情勢と医学系の学術団体としての立場も考慮し、特別大会の開催については中止とした。
- ・ 会長：佐々木雅也(滋賀医科大学医学部看護学科基礎看護学講座・教授／滋賀医科大学医学部附属病院栄養治療部・部長)
- ・ テーマ：栄養療法のイノベーションー栄養学の未来を拓くー
- ・ 実施場所：①国立京都国際会館 他
②第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会プログラム・抄録集における紙上発表
③特別企画講演等のオンライン配信による視聴参加
- ・ 実施日時：①②2020年2月27日～28日
③2020年4月10日～7月31日
- ・ 対象者：会員および非会員

② 事業名：学術集会支援事業(学術集会実践支援委員会)

- ・ 内容：COVID-19禍での本学会の学術集会・支部学術集会の開催対応、従来の学術集会・支部学術集会の運営と今後の在り方、学術集会における国内外の学術団体との連携の在り方を検討した。2021年 第36回学術集会の演題募集より、IRBの導入のため準備期間としては

演題登録時の倫理審査の状況確認、未審査演題の対応など専門家の意見も踏まえた移行として手続きを開始し、当番会長、倫理・利益相反委員会と連携し、準備を進めた。また、2022年 第37回学術集会から運営委託会社(コンベンション会社)の選定を学会主催によるコンペ形式による選定方式に変更した。当番会長と連携して運営委託会社を選定し、理事会が委託先を最終決定する委託審査体制を構築した。

- 1) COVID-19禍での学術集会と支部学術集会の運営について
- 2) 従来の学術集会と支部学術集会の運営と今後の在り方について
- 3) 他学会との合同シンポジウムについて(手続きの見直しも含め)
- 4) 各アワードの選考基準の再確認と賞牌、副賞金額の再確認について
- 5) 学術集会・支部学術集会関連会計指針について
- 6) 学術集会演題募集におけるIRBIに関する対応方針について
- 7) 学術集会開催候補地について
- 8) 本学会学術集会および併催教育セミナーの運営委託先会社選定(コンペ)について

- ・実施日時：①2020年1月4日(委員会)、②2020年2月7日(第37回学術集会コンペ)、③10月27日(第38回学術集会運営委託先募集説明会)、④メール審議
- ・実施場所：①大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)、②③東京(AP東京八重洲通り)、④随時
- ・対象者：①③委員会委員、②第37回会長、拡大総務委員会委員、委員会委員、③第38回会長、拡大総務委員会委員、委員会委員

③事業名：各支部学術集会開催事業(8支部)(支部統括委員会)

- ・内容：COVID-19の感染拡大により、各支部にて地方会を開催については、全ての支部学術集会の開催を中止もしくは順延とした。2021年の支部学術集会の開催については、他学会の動向も注視しつつ、集合型・ハイブリット・オンライン開催などの開催形式についての情報収集と本学会の導入・実施への適応について、支部長と本委員会にて協議を進めた。各支部での開催規模による予算規模や参加人数、展示等の企画実施の実現性など考慮した結果、支部学術集会自体の演題登録も含めた統一した運営(事前も一部考慮)が必要との結論で合意し、8支部全てを年間通じて担当できる運営会社を選定のためのコンペを実施した。
- ・実施日時：①2020年10月3日、②2020年11月22日(WEB会議)、③2020年10月27日(支部学術集会運営委託先募集説明会)、④2020年12月26日(支部学術集会 運営委託先コンペティション)、⑤メール審議
- ・実施場所：①②WEB会議、③④東京(AP東京八重洲通り)、⑤随時
- ・対象者：①④委員会委員、②③拡大総務委員会委員、委員会委員

・実施場所および日時：

北海道 【延期】第13回北海道支部学術集会：札幌 2020年6月1日→2021年6月5日

会長：笠師久美子(北海道医療大学薬学部薬学教育推進講座)

東北 【延期】第7回東北支部学術集会：仙台 2020年12月12日→2021年日程調整中

会長：亀井 尚(東北大学大学院医学系研究科消化器外科学分野)

関東甲信越 【延期】第8回関東甲信越支部学術集会：つくば 2020年10月11日→2021年日程調整中

会長；増本幸二(筑波大学医学医療系小児外科)

首都圏 【延期】第12回首都圏支部学術集会：

東京 2020年5月16日→2020年8月16日→2021年5月15日(WEB開催)

会長；比企直樹(北里大学医学部 上部消化器管外科学)

中 部 【中止】第14回中部支部学術集会：岐阜 2020年7月4日

会長；高橋裕司(岐阜赤十字病院内視鏡科)

近 畿 【中止】第12回近畿支部学術集会：大阪 2020年7月5日

会長；飯島正平(大阪国際がんセンター栄養腫瘍科)

中国四国 【延期】第13回中国四国支部学術集会(旧 中国支部)：

倉敷 2020年8月22日→2021年8月28日

会長；寺本房子(川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科)

【延期】第14回中国四国支部会学術集会(旧 四国支部)：

高知 2020年9月26日→2021年9月25日

会長；岡林雄大(高知医療センター消化器外科・一般外科)

九 州 【延期】第12回九州支部学術集会：福岡 2020年11月28日→2021年日程調整中

会長；大脇哲洋(鹿児島大学医歯学域医学系医歯学総合研究科離島へき地医療人育成センター)

・対象者；会員および非会員

(2)機関誌、論文図書等の刊行事業

①事業名；e-journal「学会誌JSPEN」の発行に関する事業

・内 容；静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学術論文をe-journal「学会誌JSPEN」にて発表した。

・実施場所；学会ウェブサイト マイページ内にて公開、6ヶ月後にJ-STAGE 上で公開

・実施日時；e-journal「学会誌JSPEN」は年7回発行(Supplement1・2を含む)

Vol. 2 No. 1 2020年3月13日刊行(J-STAGE公開日：2020年9月13日)

Vol. 2 No. 2 2020年5月29日刊行(J-STAGE公開日：2020年11月27日)

Vol. 2 No. 3 2020年8月12日刊行(J-STAGE公開予定日：2021年2月12日)

Vol. 2 No. 4 2020年10月2日刊行(J-STAGE公開予定日：2021年4月2日)

Vol. 2 No. 5 2020年11月25日刊行(J-STAGE公開予定日：2021年5月25日)

Vol. 2 Supplement 1 第35回学術集会プログラム・抄録集(J-STAGE公開日：2020年11月11日)

Vol. 2 Supplement 2 学会の認める地方会・研究会抄録集(J-STAGE公開日：2021年公開)

・対象者；会員および非会員

②事業名；e-journal「学会誌JSPEN」編集に関する事業

・内 容；静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する研究論文を査読し、機関誌の編集を行った。

・実施日時；①第1回：2020年1月26日、②第2回：2020年7月31日

・実施場所；①第1回：東京(学会事務局)、②第2回：WEB会議

・対象者；①②委員会全員、随時(オンライン投稿審査システム(Editorial Manager®))

③事業名：国際英文誌ジャーナルの購読に関する事業

- ・内容：医学系出版社KARGER(カルガー)社発行の国際英文誌ジャーナル「ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM」を英文誌のオフィシャルジャーナルとして提携し、会員向けのオンライン購読のサービスを行った。
- ・実施場所：①学会ウェブサイト 会員マイページより閲覧
- ・対象者：①会員

④事業名：ガイドライン作成事業(ガイドライン委員会)

- ・内容：ガイドライン(癌)の作成において、GRADE systemで推奨を作成するClinical Question(CQ)のテーマを3~6個に絞り、Narrativeで作成するテーマを作成し、パネル班の人員を確定した。この人員をGRADE班とNarrative班に分割し、それぞれでCQおよびテーマを策定した。GRADEによるCQに対してSystematic Reviewを行う人員を公募し、13名の応募があったが、その中から人選を行う段階である。
- ・実施場所：①WEB会議、②Slack審議、③GRADE班のCQ作成とNarrative班のテーマ作成
- ・実施日時：①②③随時
- ・対象者：①②③委員会委員、GRADE班、Narrative班

⑤事業名：JSPEN「コンセンサス」作成事業(臨床栄養コンセンサス検討委員会)

- ・内容：NST専門療法士の上部資格となる臨床栄養代謝専門療法士認定制度が新設された。本認定制度は9領域から1領域のみを選択し、認定申請する専門性を重視した認定制度となるが、9領域における資格申請および更新維持に対応するテキスト(コンセンサス)がないため、JSPEN独自のコンセンサス本を発行することを目的として、各9領域のWTを組織し、各領域のコンセンサスの編纂を進めた。
- ・実施場所：①WEB会議、②委員会・各WTメールリングリスト
- ・実施日時：①②随時
- ・対象者：①委員会委員、①②9領域WTメンバー

⑥事業名：9領域コンセンサス作成事業(9領域WT)

- ・内容：WT 001 がん：様々ながん診療におけるJSPENが考えるコンセンサスとして、現時点でのエビデンスという形でまとめるための抽出作業を行い、理事、WT長を含むデルファイを実施し、コンセンサスの確定作業を進めた。
- WT 002 肺疾患：COPD：7個、肺癌：6個、肺感染症：8個、間質性肺炎：7個、周術期：2個、誤嚥性肺炎：9個の計39個からなる候補をメール会議にて決定し、各コンセンサスについて文献レビューを行った。各項目の推奨グレードを設定し、引用文献に基づき解説も作成した。
- WT 003 肝疾患：肝疾患に関する臨床栄養のコンセンサスとして約60個を選定した。各コンセンサスに関する参考論文を文献検索し、Answer、解説等を編纂した。第1回デルファイを経て、修正後の第2回デルファイを施行し、コンセンサスの確定

を進めた。

WT 004 腎疾患：腎疾患に関するコンセンサスの作成に向けての確定と内容の執筆分担を行った。

WT 005 リハビリテーション：リハビリテーション分野に関する栄養管理の有効性についての文献などの情報収集を行い、コンセンサス案を作成した。この案に対するJSPENとしてのコンセンサス案を選定し、さらにこれらの研究のエビデンスレベルについても審議し、Answer、解説等を編纂した。今後、理事、WT長を含むデルファイを実施しコンセンサスを確定する。

WT 006 在宅：在宅医療分野に関する栄養管理の有効性についての文献などの情報収集を行い、コンセンサス案を作成した。この案に対するJSPENとしてのコンセンサス案と参考文献のエビデンスレベルなどについて検討し、Answer、解説等を編纂した。今後、理事、WT長を含むデルファイが実施される。

WT 007 小児：小児医療のコンセンサスの作成に向けた選定を行い、各コンセンサスに関する参考論文を文献検索し、コンセンサス案の執筆作業を進めた。

WT 008 摂食・嚥下：摂食・嚥下のコンセンサスの作成に向けて検討を行った。

WT 009 周術期・救急集中治療：周術期・救急集中治療のコンセンサスの作成に向けて、C集積作業を行い、デルファイを実施しコンセンサスを確定した。

・実施場所：①各メーリングリストによる審議

・実施日時：①2020年1月1日～11月30日

・対象者：①理事会、臨床栄養コンセンサス検討委員会、9領域WTメンバー

⑦事業名：「日本臨床栄養代謝学会 JSPENテキストブック」の発刊事業

・内容：学会名称が変更となり、さらに最新の知見を含んだ内容にすべき箇所もことから、現在のテキストブックを改訂した新刊を発行する。本事業はJSPENプロジェクトとして、新ハンドブック作成プロジェクト(P 004)を組織し、編纂作業を行った。本テキストブックは、2021年の第36回学術集会時に発刊を目指し、鋭意出版作業を進めた。

・実施場所：①メール審議を必要に応じて開催し、執筆依頼を行った。

・実施日時：①随時

・対象者：①プロジェクトメンバーと執筆者（会員）

(3)内外の関係学術団体との連絡および提携

①事業名：日本医学会および一般社団法人日本医学会連合の加盟団体としての事業(理事会)

・内容：日本医学会加盟分科会および一般社団法人日本医学会連合加盟団体として、日本医学会代議員、日本医学会連絡委員、日本医学会用語委員、日本医学会用語(代)委員、編集委員(欧文誌・和文誌)、倫理・利益相反委員を派遣し、担当会議へ参加(WEB会議含)した。さらに加盟分科会・加盟団体として日本医学会・日本医学会連合からの各種調査・アンケートへの回答、厚生労働省や日本医師会などからの通知等の周知依頼協力、日本医学会・日本医学会連合主催事業など本学会ウェブサイト等を通じての広報協力をを行った。

・実施行事：①第87回日本医学会評議員会、②第6回研究倫理教育研修会、③令和2年度日本医学会連

合定時総会、④日本医学会用語委員会、⑤厚生労働省・日本医師会通達周知依頼、日本医学会シンポジウム、日本医学会公開フォーラム広報協力

- ・実施日時；①2020年2月28日(書面決議)、②2020年5月19日(中止)、③2020年6月24日(WEB会議)、④2019年12月17日(日本医師会大講堂)、⑤随時
- ・対象者；①③派遣担当会員(日本医学会代議員・連絡委員)、②倫理・利益相反委員長、④用語委員会(日本医学会用語委員、用語(代)委員)、⑤会員

②事業名：一般財団法人 日本栄養療法推進協議会(以下、JCNT)の加盟団体としての事業(理事会)

- ・内容；JCNTは、第三者機関としてのNSTの質の保証と向上を目的として設立され、厚生労働省も認知している上部認定機関として、加盟学術団体と職能団体からなる多職種での認定委員会を組織し、第三者機関としてのNST稼働施設認定を実施している。同時に施設や病院の管理者に対してNSTの有用性について理解いただくとともにNSTの施設内での地位向上を目的として毎年教育セミナーを開催している。本学会はJCNTの学術加盟団体として、理事、評議員、専門委員を派遣するとともにJCNT主催の教育セミナーへ司会・講師を派遣し、本学会のみでなく、関連学術研究団体、職能団体と連携しNSTの質の保証と向上に携わっている。2020年は構成学術団体であった日本病態栄養学会が脱退したため、日本外科代謝栄養学会、日本臨床栄養学会と協力し第7回教育セミナー開催のため本学会が中心となりセミナー開催に向けて尽力した。
- ・実施行事；①理事会、②評議員会、③認定委員会、④第7回教育セミナー
- ・実施日時；①②2019年12月10日、③審査を1年延期、④2020年11月15日～12月14日 e-learning 配信
- ・対象者；①②③派遣担当会員、④会員、JCNT NST稼働認定施設

③事業名：日本栄養学学術連合の加盟団体としての事業(理事会)

- ・内容；日本栄養学学術連合は、栄養学の学術としての質を高め、その成果をもって、少子超高齢化が進展する日本社会において、人々の健康寿命の延伸および生活の質の向上に寄与することを目的として設立された。本学会は設立当初から加盟し、2名の世話人を派遣している。現在15学術団体が加盟している。本学会からも同連合世話人会へ世話人を派遣し、加盟団体との交流を図った。また、2020年に開催予定であった「栄養サミット」が、2021年12月に延期となり「東京栄養サミット2021」として開催することになった。同連合も開催支援に携わっており「栄養サミットに向けてのコミットメント」の作成について協力し、本学会からもタスクフォースメンバーを派遣することになった。
- ・実施行事；①2020年度日本栄養学学術連合世話人会(WEB会議)
- ・実施日時；①2020年10月5日
- ・対象者；①派遣担当会員

④事業名：国際交流に関する事業(国際委員会)

- ・内容；日本の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連して、国際社会(ESPEN、ASPEN、PENZA、FELANPE)に向けた情報交換を通して本学会の活動のレベルアップを図るとともに、当該領域の国際的情報について会員への提供を行った。ESPEN(Council Meetingを含

む)への参加を行った。一方で、例年開催してきた ASPEN(ASPEN Leadership Meeting)、PENSA(Executive Meeting)は実施しなかった。

- ・実施日時 ; ①2020年1月17日～19日、②2020年3月28日～31日、③2020年10月29日～31日→【延期】2021年10月14日～16日、④2020年9月19日～9月21日、⑤2020年12月4日～6日、⑥随時
- ・実施場所 ; ①ESPEN Council Meeting : ニース(フランス)、②ASPEN 20 virtual conference : タンパ、フロリダ(USA)、③PENSA : バンコク(タイ)、④ESPEN 2020 Virtual Congress、⑤FELANPE 2020 Científica Virtual、⑥持ち回り委員会
- ・対象者 ; 会員、①～⑤会員、⑥委員会委員

(4) 栄養学に関する研究および調査

①事業名 : 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築事業(REDCapプロジェクト)

- ・内容 ; 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築のため、倫理委員会審査を経た会員の各施設を対象に在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料算定患者のデータ集積を実施した。また、継続して協力参加施設を募った。
- ・実施場所 ; ①WEB会議
- ・実施日時 ; ①2020年11月26日(中間報告会)
- ・対象者 ; ①会員所属施設、プロジェクトメンバー

②事業名 : 臨床研究推進事業(誤接続防止対策プロジェクト(P 003))

- ・内容 ; 1) 新経腸栄養コネクタ ISO80369-3の情報提供と導入方法に向けての、会員への情報提供と導入方法の紹介を目的として、学会ウェブサイトへ「相互接続防止コネクタ国際規格経腸栄養分野の小口径コネクタ (ISO (IEC) 80369-3) シリーズ製品の国内導入について」との専用ページ(https://www.jspen.or.jp/iso_80369-3/)を新設し、周知活動にと努めるとともにJCNT(上述)の第7回教育セミナー(e-learning 配信)でも本学会の講演テーマとして取り上げ、関連学協会とも連携した情報提供活動を実施した。

2) 「ISO 80369-3 経腸栄養関連コネクタ製品への切り替えにおける注意点」として本学会よりISO 80369-3コネクタの導入に際し、以下の5つの点について注意が必要であることについて、提起した。

注意点 1 : 新旧コネクタ使用に際しアダプタが必要

注意点 2 : オス型コネクタのロック部の汚染

注意点 3 : 微量注入が困難

注意点 4 : 薬液の吸引が困難

注意点 5 : 栄養剤の吸引が困難

- ・実施場所 ; 1) ①各会員施設、②学会ウェブサイト、③第7回JCNT教育セミナー
2) ①学会ウェブサイト
- ・実施日時 ; 1) ①随時、②2020年10月9日公開、③2020年11月15日～12月14日(e-learning 配信)
2) ①2020年10月9日公開
- ・対象者 ; 1) ①会員施設、②プロジェクトメンバー、保険委員会、会員および非会員、③JCNT NST

稼働認定施設

2) ①プロジェクトメンバー、保険委員会、会員および非会員

③事業名：nutritionDayプロジェクト参加推進事業(国際委員会 nutritionDay WG)

- ・内容；ESPENによる入院患者の栄養状態を把握する国際的なアンケート調査であるnutritionDayプロジェクト(2020年11月12日)に日本国内の施設も参加した。
- ・実施場所；①会員施設
- ・実施日時；①2020年11月12日(nutritionDay)
- ・対象者；①会員施設

④事業名：GLIM(The Global Leadership Initiative on Malnutrition)2 作成のための情報収集事業(GLIM2プロジェクト(P 006))

- ・内容；2018年に欧州臨床栄養代謝学会(ESPEN)および米国静脈経腸栄養学会(ASPEN)の学会誌である「Clinical Nutrition」と「JPEN」に、世界規模での低栄養の診断基準 GLIM criteria が同時に掲載され、本学会も共著団体として名を連ねている。この GLIM Criteria を本学会で再度検証し、日本での診断基準への適用とその後の経過調査・分析が本プロジェクトの活動目的となる。本学会は、22,000名の会員を擁し、上記の提案者のひとり(アカデミア)として世界各国の栄養関連学会の中で主導的な立場にある。このような本学会の立場は、わが国の超高齢化社会問題における、サルコペニア・フレイルといった低栄養が要因となる疾患への予防・診断・回復治療において極めて重要な役割を果たすことから、発表されたGLIMの有効性や今後改善すべき点を本プロジェクトで検証し、GLIM2 作成のための情報収集の準備を進めた。
- ・実施場所；①メール審議
- ・実施日時；①随時
- ・対象者；①関連委員会・プロジェクト、プロジェクトメンバー

(5) 栄養サポートチーム(NST)の普及と質の向上に関する事業

①事業名：NST医師教育セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容；栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師を対象としセミナーを開催した。本セミナーは、日本外科代謝栄養学会ならびに日本静脈経腸栄養学会の共催にて開催されるもので、栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の10時間以上の研修に該当する。日本外科代謝栄養学会・日本臨床栄養代謝学会の共催にて第57回日本外科代謝栄養学会学術集会中に開催された。
- ・実施場所；第57回学術集会WEBサイト(<http://www.congre.co.jp/jssmn57/nst.html>)
- ・実施日時；2020年12月25日～26日
- ・対象者；会員および非会員(参加者250名)

②事業名：TNT研修会開催事業(TNT委員会)

- ・内容；TNT研修会は、栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師

を対象とした研修会(スクール・ワークショップ形式)となる。COVID-19の感染拡大により、各地区全てのTNT研修会の開催を中止した。また、TNT研修会は2020年をもって終了し、2021年度からは、医師・歯科医師セミナー(WG(5))、新医師・歯科医師セミナープロジェクト(P 005)で設立する新セミナーに移行する。

- ・実施場所；北海道、東北、首都圏、関東甲信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の各地区にて計15回研修会を中止。
- ・対象者；会員および非会員

③事業名：医師・歯科医師セミナー実施計画事業(教育委員会、医師・歯科医師セミナーWG、新医師・歯科医師セミナープロジェクト(P 005)合同事業)

- ・内容；新たな医師・歯科医師セミナーの実施のため、同セミナーの教育内容の確認と新規テキストの作成について著者候補者・講師候補者の選定し、執筆依頼を行った。新規セミナーテキストは、日本外科代謝栄養学会第57回学術集会時のNST医師教育セミナー(オンライン受講：2020年12月25日～26日)より使用する。
- ・実施場所；①WEB会議、②持ち回り委員会(メール審議)、③執筆者施設
- ・実施日時；①②③随時
- ・対象者；会員執筆者、教育委員長、WGメンバー、プロジェクトメンバー

④事業名：NST稼働施設認定事業(NST委員会)

- ・内容；NST活動が一定の基準を満たしている施設を書類審査後、認定し公開する。
- ・実施場所；①②東京(学会事務局およびWEB会議)
- ・実施日時；①2020年11月6日(委員長予備審査)、②2020年11月27日(委員会・申請書類審査)
- ・申請期間等；③2020年10月1日～31日(当日消印有効：期間厳守)(NST稼働施設新規・更新申請受付)、2021年2月17日(第8回定時社員総会時に審査結果公表)
- ・対象施設；①委員長、②委員会委員、③NST立ち上げ宣言を行っている施設で、NST稼働施設への申請施設(新規・更新)

⑤事業名：NST委員会ウェブサイト移行・改訂事業(NST委員会)

- ・内容；現在のNST委員会ウェブサイト(<http://www.nst-jspen.com/intro.html>)を学会ウェブサイト(<https://www.jspen.or.jp/>)へ一体化するための移行・改訂作業を進めた。本移行・改訂としては、掲載内容の見直し、NST委員会ウェブサイトへのアクセス性の改善や作業性の効率化に関する実現可能性を検討した。これによりNST立ち上げ宣言の運用は2020年10月31日に終了とし、NSTメーリングリストは、2020年12月28日に終了することを決定した。従来よりも手続き等に対して利便性が高く情報に関して質、量ともに充実したウェブサイトの構築作業を引き続き行う。
- ・実施場所；①メール審議、②WEB会議、③東京(学会事務局)
- ・実施日時；①2020年1月20日、3月25日、4月5日、5月10日、8月8日、9月13日、②2020年7月10日、7月18日、8月7日、③2020年6月18日
- ・対象者；①NST委員会委員、②総務委員長、WEB制作会社、NST委員長、③総務委員長、NST委員長

⑥事業名：NSTフォーラム参加クレジット制開始準備作業(総務委員会、教育委員会、NST委員会)

- ・内容：第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会から導入されるNST稼働認定施設更新要件としての参加クレジット制における実務上の手順等の確定作業を行った。
- ・実施場所：①メール審議
- ・実施日時：①2020年10月
- ・対象者：①NST委員会委員、総務委員長、教育委員長、第36回学術集会会長

⑦事業名：NSTフォーラム開催事業(NST委員会)

- ・内容：学術集会開催期間に各医療機関の診療におけるNSTの貢献内容を討議し、各施設の活動の質を向上維持することに寄与することを目的としたフォーラムの開催と準備を行った。
1) 2020年NSTフォーラムは、テーマ「極めよう！NSTの進むべき道」と定め、質の担保された目指すべきNST活動を提示することにより、NST稼働施設の増加、NST活動に対する評価(診療報酬)の向上を目指すための方策を予定したが、第35回学術集会の集合型開催の中止に伴い、同フォーラムの開催も見送りとした。
2) 2021年NSTフォーラムの検討を行い、学術集会開催期間に各医療機関の診療におけるNSTの貢献内容を討議し、各施設の活動の質を向上維持することに寄与することを目的としたフォーラム開催の準備を進めた。JSPEN2021では、テーマ「NSTのこれまで・今・これから」として、創設期、拡大期(NSTプロジェクト初期)、充実期(NSTプロジェクト後期)、未来への展望の構成とした。これにより各医療機関のNST活動の質の向上と活動の活発化に寄与することを目的とする。
- ・実施場所：①【見送り】京都(国立京都国際会館)、②メール審議、③東京(学会事務局およびWEB会議)、④神戸(神戸ポートピアホテル)フォーラム開催
- ・実施日時：①【見送り】2020年2月27日(NSTフォーラム)、②2020年5月～6月、③2020年11月27日(委員会)、④2021年2月19日(NSTフォーラム)
- ・対象者：①④学術集会参加者、②第36回学術集会会長、③委員会委員

(6) 研究の奨励と優秀な業績の表彰

①事業名：研究推進事業(記念AWARD選考WG：小越章平記念Best Paper in The Year選考)

- ・内容：1) 受賞講演
2019年小越章平記念 Best Paper in The Year受賞者に対し、第35回学術集会にてCOVID-19の感染拡大防止のためWEB収録配信として受賞講演をお願いした。
奥川喜永(三重大学 消化管・小児外科学講座)
「Circulating miR-203 derived from metastatic tissues promotes myopenia in colorectal cancer patients」
(Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 10(5): March 2019)
(DOI: 10.1002/jcsm.12403)
- ・実施場所：①京都(国立京都国際会館)、②第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会ウェブサイト
- ・実施日時：①2020年2月28日(WEB収録)、②2020年4月10日～7月31日(WEB配信)

- ・対象者；①受賞者、②WEB参加者
- ・内容；2)賞の選考
選考委員会選考基準にしたがい、下記の受賞者1名を決定した。受賞者には第36回学術集会(2021年)にて、受賞講演が予定されている。
小林 実(東北大学病院 総合外科 下部消化管グループ)
「Protective effect of the oral administration of cystine and theanine on oxaliplatin-induced peripheral neuropathy: a pilot randomized trial」
(International Journal of Clinical Oncology 25: 1814-1821, 2020)
(DOI: <https://doi.org/10.1007/s10147-020-01728-4>)
- ・実施場所；①学会ウェブサイト(募集情報掲載)、②メール審議
- ・実施日時；①2020年9月1日～9月30日(公募)、②2020年10月(選考WG)
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

②事業名：学会への功績に対する表彰事業(記念AWARD選考WG：大柳治正記念学術振興アワード選考)

- ・内容；1)受賞講演(第35回学術集会ウェブサイトにてWEB配信)
2019年大柳治正記念学術振興アワード受賞者に対し、第35回学術集会にてCOVID-19の感染拡大防止のためWEB収録配信として受賞講演をお願いした。また、2名の関連講演を同時に収録し関連講演配信を行った。
受賞講演：入山圭二(長島中央病院)
「脂肪乳剤粒子のアポリポ蛋白質結合機構と血管内代謝」
関連講演：宇佐美眞(甲南女子大学医療栄養学部 医療栄養学科)
「脂肪酸投与の意義」
関連講演：福島恵造(神戸学院大学薬学部 臨床薬物動態学研究室)
「脂肪乳剤の個別化投与速度設計：母集団薬物動態解析によるmodeling & simulation」
- ・実施場所；①京都(国立京都国際会館)、②第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会ウェブサイト
- ・実施日時；①2020年2月28日(WEB収録)、②2020年4月10日～7月31日(WEB配信)
- ・対象者；①受賞者、関連講演者、②WEB参加者
- ・内容；2)賞の選考
選考委員会選考基準にしたがい、下記の受賞者1名を決定した。また、1名の関連講演を行う者を決定した。受賞者および関連講演者には、第36回学術集会(2021年)において、受賞講演および関連講演が予定されている。
受賞講演：馬場忠雄(医療法人友仁会 友仁山崎病院)
関連講演：佐々木雅也(滋賀医科大学医学部看護学科基礎看護学講座／滋賀医科大学医学部附属病院栄養治療部)
- ・実施場所；①メール審議
- ・実施日時；①2020年9月(選考WG)
- ・対象者；①WGメンバー

③事業名：研究推進事業(学術AWARD選考WG：JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD選考)

・内容：1)受賞者表彰式

2019年度の受賞選考より、授与内容を改定した。受賞講演は取り止め、総会・学術評議員会後の表彰式で本賞を授与することになった。COVID-19の感染拡大により、集合型形式での第35回学術集会は開催中止となったため、2020年度表彰式も見送りとなったため、後日、学会事務局より賞状・賞牌を贈呈した。

受賞者①：大邊寛幸(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学分野)
タイトル：重症頭部外傷患者に対する早期経腸栄養の効果：DPCデータを用いた傾向スコアマッチング研究

受賞者②：大槻郁人(札幌医科大学附属病院 麻酔科)

タイトル：低栄養リスクを有する急性期脳卒中患者に対する栄養管理の有効性についての検討ーランダム化比較試験ー

受賞者③：匂坂正孝(医療法人匂坂会サキサカ病院)

タイトル：誤嚥性肺炎や消化管合併症を有する高齢者に対する安全な経腸栄養プロトコル確立に向けた検討

・内容：2)賞の選考

2020年度の申請はなかった。

・実施場所：①学会ウェブサイト(募集情報掲載)

・実施日時：①2020年9月1日～9月30日(公募)

・対象者：①会員(公募)

④事業名：研究推進事業(学術AWARD選考WG：YOUNG INVESTIGATOR AWARD選考)

・内容：1)受賞者

2019年度の受賞選考より、授与内容を改定した。受賞講演は取り止め、総会・学術評議員会後の表彰式で本賞を授与することになった。COVID-19の感染拡大により、集合型形式での第35回学術集会は開催中止となったため、2020年度表彰式も見送りとなったため、後日、学会事務局より賞状・賞牌を贈呈した。

受賞者①：瀬部真由(徳島大学大学院 代謝栄養学分野)

タイトル：脂質の過剰摂取は関節リウマチ病態の増悪・骨格筋量の減少を引き起こす

受賞者②：古屋宏章(昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門)

タイトル：新規規格栄養チューブ(ISO 80369-3)における細菌汚染の経時的変化の検証

受賞者③：大原雄希(札幌医科大学附属病院 薬剤部)

タイトル：ポリファーマシーが経口摂取量に及ぼす影響

・内容：2)賞の選考

2020年度の受賞候補者の該当はなかった。

・実施場所：①学会ウェブサイト(募集情報掲載)、②メール審議

・実施日時：①2020年9月1日～9月30日(公募)、②2020年10月～11月(選考WG)

・対象者：①会員(公募)、②WGメンバー

⑤事業名：研究推進事業(学術AWARD選考WG：JSPEN スカラーシップ賞選考)

・内容：賞の選考

選考に際し学術AWARD選考WGを開催し、審査の結果1名の受賞を決定した。2021年度総会・学術評議員会時の表彰式での表彰が予定されている。

受賞者名：田中明紀子(和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部)

タイトル：肥満患者における減量過程による味覚変化に対する前向きコホート研究

・実施場所：①学会ウェブサイト(募集情報掲載)、②メール審議

・実施日時：①2020年9月1日～9月30日(公募)、②2020年10月～11月(選考WG)

・対象者：①会員(公募)、②WGメンバー

⑥事業名：研究推進事業(フェローシップ選考WG)

・内容：1)受賞者・表彰式

2020年度のフェローシップ賞の受賞者に対し、第35回学術集会にて応募者セッションを開催する予定であったが、集合型開催が中止となったため、応募者セッションも中止とし、持ち回り審議を行い、最終受賞者を選定した。また、フェローシップ賞の受賞は、総会・学術評議員会後の表彰式にて表彰となるため、2021年度総会・学術評議員会時の表彰式での表彰が予定されている。

受賞者：岸 宗佑(イムス札幌消化器中央総合病院消化器内科)

タイトル：内頸静脈穿刺および CV ポート手術の合併症予防のための正しい頸部解剖の理解と新たな穿刺経路の探索について

・実施場所：①メール審議

・実施日時：①2020年8月～9月(選考WG)

・対象者：①WGメンバー

・内容：2)賞の選考

フェローシップ賞へ申請のあった代謝栄養に関わる研究から5演題を採択した。第36回学術集会にて応募者セッションを開催し、最終受賞者を選定する。受賞者は、2021年度総会・学術評議員会時の表彰式での表彰が予定されている。

・実施場所：①第36回学術集会ウェブサイト上、②メール審議、③④神戸(神戸ポートピアホテル)

・実施日時：①2020年6月15日～8月31日(演題募集期間)、②2020年9月～10月(事前選考)

③2021年2月18日(委員会・最終選考会議)、④2021年2月18日(応募者セッション)

・対象者：①③④会員、②④WGメンバー

(7)栄養学に関する情報や指針の提供

①事業名：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する情報提供事業(総務委員会、広報WG)

・内容：本学会ウェブサイトの運用を通じて、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する広報活動を行うと共に国内外の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連した最新の情報を提供した。2020年1月1日の新学会名称変更では、学会ウェブサイト内の旧学会名称掲載のページにおける変換対象となる部分を新学会名称に変換する作業を実施した。また、学会ウェブサイトのコンテンツや掲載内容を見直し、現在の要望に合ったコンテ

ンツ案や学会ウェブサイトへのリニューアルのための提言を行った。

- ・実施場所；①学会ウェブサイト、②メール審議
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①会員および非会員、②総務委員会、WGメンバー

②事業名：「JSPENメールニュース」配信事業(総務委員会、広報WG)

- ・内容；COVID-19感染拡大に伴う年次学術集会、支部学術集会の開催状況に関する最新情報の提供、個人認定資格をはじめとした各種認定制度の重要連絡、NST専門療法士受験必須セミナー・NST専門療法士更新必須セミナーのオンライン受講に関する案内、各種アワード募集の告知など、緊急対応情報も含む本学会の事業に関する最新情報を「JSPEN メールニュース」として月2回を基本配信として会員に対して一斉メール配信を行った。
- ・実施場所；①E-mail登録のある会員への一斉メール配信、②メール審議
- ・実施日時；①月2回の基本配信、②随時
- ・対象者；①会員、②総務委員会、WGメンバー

③事業名：JSPEN「Newsletter」発行事業(総務委員会、広報WG)

- ・内容；2020年1月1日からの新学会名称でのスタートに併せて、JSPEN「Newsletter」を同日付けで創刊した。創刊号では、理事長挨拶、学術集会大会長挨拶、聴きどころピックアップ、学会名称変更について、学会からの連絡事項などの内容を企画し、学会ウェブサイトへ掲載するとともに印刷版も発行し全会員に対して送付した。2020年度は創刊号を含め年5回の定期発行を予定していたが、COVID-19の感染拡大による事業・業務の変更のため、2020年度は第2号以降の発行を延期した。
- ・実施場所；①学会ウェブサイト、②メール審議、
- ・実施日時；①2020年1月1日発行(学会ウェブサイト公開は1月6日)、②随時
- ・対象者；①会員、②総務委員会、WGメンバー

④事業名：臨床栄養代謝学に関わる用語解説事業(用語委員会)

- ・内容；1)臨床栄養代謝学で必要な用語を正しく理解して適切に用いるための解説を行うことを目的に、委員会で協議の上で解説する用語を決め、e-journal「学会誌JSPEN」へ「用語解説」の掲載区分を新設し、掲載を開始した。現在の選定用語は、「嚥下リハビリテーション」「1号液～4号液」「悪液質」「リフィーディング症候群」「フレイル」「Lカルニチン」を選定した。また、新規用語案として「抗酸化物質としてのカテキン」を決定し執筆依頼を行った。
- 2)日本医学会用語委員会へ日本医学会用語委員、用語(代)委員として活動した。
- ・実施場所；①WEB会議、②メール審議、③e-journal「学会誌JSPEN」、④日本医学会用語委員会からの要請に応じて
- ・実施日時；①2020年12月4日、②随時、③学会ウェブサイト、④日本医学会用語委員会からの通知
- ・対象者；①②委員会委員、③会員および非会員(臨床栄養に携わる全ての国民への情報提供)、④用語委員会

(8) 社会に対する栄養に関する情報提供と啓発

①事業名：地域連携推進プロジェクト事業(地域連携推進プロジェクト(P 002))

- ・内容；「在宅医療」「地域医療」をキーワードとして、学術団体としての地域連携のあり方、連携推進の実現に向けて意見交換を行った。地域包括ケアシステムとリンクして栄養管理や栄養療法の重要性を医療従事者だけでなく患者・家族にもご理解いただくための活動について検討した。
- ・実施場所；①メール審議、②地域連携組織への情報収集
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①②会員および非会員

②事業名：NDB プロジェクト事業(NDB(ナショナルデータベース)プロジェクト(P 007))

- ・内容；REDCap プロジェクト(P 001)とGLIM2 プロジェクト(P 006)と並行して、わが国の栄養療法の在り方をデータ上で捉え、診療報酬の改定や国への要望に際し、現場の確かなデータやエビデンスを基にした将来的な対応を目指したデータ蓄積を行うために発足した。メンバーの選定も含め 2021 年度以降の活動方針について検討を行った。
- ・実施場所；①メール審議
- ・実施日時；①随時
- ・対象者；①プロジェクトメンバー

③事業名：在宅栄養推進プロジェクト事業(在宅栄養推進プロジェクト(P 008))

- ・内容；現在、在宅静脈栄養管理、経腸栄養管理に関する代表的なエビデンスが本邦に存在しないため、新たな診療報酬への確固としたアプローチができていない。本学会にて在宅での栄養管理法の見直しを実施し、その有効性と経済性を再評価し、さらに実際の管理法の合理化を目指し発足した。メンバーの選定も含め 2021 年度以降の活動方針について検討を行った。
- ・実施場所；①メール審議
- ・実施日時；①随時
- ・対象者；①プロジェクトメンバー

④事業名：COVID-19 プロジェクト事業(COVID-19 対策プロジェクト(P 009))

- ・内容；2020 年に理事会を主体としたプロジェクトメンバーで、世界中から発信されている最新の情報とこれまでに集積してきた代謝栄養学的知見から COVID-19 に対する治療と予防に関する栄養学的アプローチについて、厚生労働省、日本医学会連合をはじめとした関係機関に対して提言を行った。さらに、学会ウェブサイト COVID-19 専用ページを開設し、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の治療と予防に関する栄養学的提言(全文)および(要約)を掲載し、全国の医療現場で治療を担当されている医療従事者の皆様へ栄養学的側面からのサポートとして提言を行った。(<https://www.jspen.or.jp/covid-19/>)
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)、③学会ウェブサイト、④e-journal

- ・実施日時；①②随時、③④学会ウェブサイト
- ・対象者；①②委員会委員、関係プロジェクトメンバー、理事会メンバー、③④会員および非会員(全国の医療従事者、厚生労働省、日本医学会をはじめとした関係機関)

(9)医療政策に関する提言

①事業名：2022年度診療報酬改定に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容；2022年度診療報酬改定に向けて、委員会での討議および会員へ情報の提供を行った。栄養関連の医療政策に関する要望として、関係委員会と検討し対応した。また、外保連を通じて情報収集、アンケートへ返答を行った。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(外保連事務局・WEB会議を含む)
- ・実施日時；①随時、②2020年1月1月～11月30日(外保連各委員会複数回)
- ・対象者；①②委員会委員、静脈経腸経口栄養および臨床栄養に関する団体

(10)認定に関する事業

①事業名：代謝栄養の専門医師育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)認定医・認定歯科医認定試験問題の作成と認定試験を実施した。
2)認定医、指導医、認定歯科医の新規申請審査を実施した。
- ・実施場所；①WEB会議、②大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)、③京都(京都国際会議場)、④名古屋(AP名古屋)
- ・実施日時；①2020年6月12日(キックオフ・ミーティング)、②第1回：2020年7月5日(作成)、①第2回：7月23日(選択)、第3回：7月24日(選択)、第4回：8月9日(選択)、第5回：8月23日(選択)、③10月25日(認定試験)、④11月16日(認定試験合否判定会議)、①11月～12月(認定・資格制度委員会：指導医新規申請書類審査)、①12月17日(認定・資格制度委員会：指導医新規申請審査)
- ・申請期間等；2020年7月1日～31日(認定医・認定歯科医新規申請受付)、8月3日～8月31日(指導医新規申請受付)、12月8日(認定医、認定歯科医認定試験合格者発表)
- ・対象者；委員会委員、認定医・指導医申請者(新規)、終身認定対象者、認定歯科医申請者(新規)

②事業名：NST専門療法士育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；NST専門療法士認定試験問題の作成と認定試験を実施した。
- ・実施場所；①WEB会議、②大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)、③京都(京都国際会議場)、④名古屋(AP名古屋)
- ・実施日時；①2020年6月12日(キックオフ・ミーティング)、②第1回：2020年7月5日(作成)、①第2回：7月23日(選択)、第3回：7月24日(選択)、第4回：8月9日(選択)、第5回：8月23日(選択)、③10月25日(認定試験)、④11月16日(認定試験合否判定会議)、①12月8日(認定・資格制度委員会：NST専門療法士合格者決定)
- ・申請期間等；2020年7月1日～7月31日(NST専門療法士新規・書類審査合格者・未更新者更新申請受付)、12月8日(NST専門療法士合格者発表)

- ・対象者；委員会委員、NST専門療法士申請者(新規)
- ③事業名：NST専門療法士育成、施設認定事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；1)NST専門療法士育成のための施設認定審査(新規・更新)を実施した。
2)学会の認める全国学会・地方会・研究会の2単位研究会への活動調査を実施した。
 - ・実施場所；①WEB会議
 - ・実施日時；①2020年12月17日(認定・資格制度委員会：申請書類審査)
 - ・申請期間等；1)2020年10月1日～10月31日(NST認定教育施設新規・更新申請受付)、2021年2月17日(第8回定時社員総会時に審査結果公表)
2)2020年9月18日～10月20日(2020年度「日本臨床栄養代謝学会 学会の認める全国学会・地方会・研究会」活動内容調査)
 - ・対象施設；1)認定教育施設への申請施設(新規・更新)
2)「日本臨床栄養代謝学会 学会の認める全国学会・地方会・研究会」における2単位研究会(活動内容調査)
- ④事業名：暫定臨床栄養代謝専門療法士認定事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；NST専門療法士の上部資格となる臨床栄養代謝専門療法士制度を発足し、暫定申請期間における審査を実施した。
 - ・実施場所；①WEB会議
 - ・実施日時；①2020年12月17日(認定・資格制度委員会・申請書類審査)
 - ・申請期間等；2020年8月3日～8月31日(暫定臨床栄養代謝専門療法士新規申請受付)、2021年2月17日(第8回定時社員総会時に審査結果公表)
 - ・対象者；NST専門療法士更新認定者
- ⑤事業名：NST専門療法士更新必須セミナー開催事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；COVID-19の感染拡大により、2020年2月27日に「みやこめっせ」で開催を予定していた第1回更新必須セミナーの集合型開催を中止し、オンラインによるセミナー受講システムを構築し、NST専門療法士認定者のさらなる質の向上のために、NST専門療法士を対象とした資格更新のためのセミナーを開催した。
 - ・実施場所；オンライン受講
 - ・実施日時；第1回受講期間：2020年4月27日～7月31日
第2回受講期間：2020年7月31日～9月28日
第3回受講期間：2020年10月1日～11月30日
【中止】第4回
 - ・対象者；NST専門療法士(1,859名[第1回：792名、第2回：413名、第3回：654名])

(11)教育に関する事業

- ①事業名：JSPEN栄養マスターコース開催事業(教育委員会)
- ・内容；臨床栄養に高いレベルで更に精通した人材の育成を目的とする実践的な知識の学習(主に

実際の症例検討を参考に)を目指して、テーマを決めて年2回の開催を予定したが、COVID-19の感染拡大により2020年度の開催は中止とした。

- ・実施場所：【中止】①第7回・②第8回：名古屋(東海東京証券(株)オルクドール・サロン)
- ・実施日時：【中止】①第7回：2020年4月5日
【中止】②第8回：2020年10月4日
- ・対象者：①②会員[各80名定員]

②事業名：LLL(Life Long Learning)開催事業(教育委員会：LLL WG)

- ・内容：LLLライブコースの開催
ESPENの教育ツールを用いて、栄養管理に関するAdvanced Courseの教育のために、年2回開催を計画したが、COVID-19の感染拡大を鑑み、2020年度の開催を中止とした。
- ・実施場所：【中止】①第18回：東京(北里大学白金キャンパス)
- ・実施日時：【中止】①第18回：2020年3月14日～15日
- ・対象者：①会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)[各Topics60名定員]

③事業名：LLL(Life Long Learning)事前学習会開催事業(教育委員会、薬剤師部会)

- ・内容：LLL事前学習会の開催
ESPENの教育ツールLLLの自己学習を補助するため、事前学習会を開催した。なお、COVID-19の感染拡大により、第2コースは中止とした。
- ・実施場所：東京(北里大学白金キャンパス)
- ・実施日時：第1コース目：2019年12月21日、2020年1月18日、2月8日
第2コース目：【中止】2020年5月～7月
- ・対象者：会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)(31名[1コース目出席計31名、【中止】2コース目])

④事業名：NST専門療法士受験必須セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容：COVID-19の感染拡大により、2020年2月28日・29日に「みやこめっせ」で開催を予定していた第1回受験必須セミナーの集合型開催を中止し、オンラインによるセミナー受講システムを構築し、臨床現場での栄養管理の基本的事項の教育、適切な栄養療法の普及と質の向上のために、非会員も対象とし、多職種向けのセミナーを開催した。
- ・実施場所：オンライン受講
- ・実施日時：第1回受講期間：2020年4月30日～7月31日
第2回受講期間：2020年6月10日～7月31日
第3回受講期間：2020年7月1日～8月31日
【中止】第4回
- ・対象者：会員および非会員(1,601名[第1回：718名、第2回：686名、第3回：197名])

⑤事業名：NSTベーシックコース開催事業(教育委員会、職能別活動検討委員会)

- ・内容：本コースは、これまでの栄養士・管理栄養士、看護師、薬剤師部会のトレーニングセミ

ナーの後継となり、より適切な栄養療法の実践のために、どうしても知っておきたい基本的な部分を確認して知識を深めるべく、非会員も対象とし、多種職メディカルスタッフ向けのセミナーとして2018年から開催してきたが、COVID-19の感染拡大により2020年度の開催は中止とした。

- ・実施場所；【中止】第3回：未定
- ・実施日時；【中止】第3回：2020年11月開催予定
- ・対象者；会員および非会員(定員90名予定)

⑥事業名：職能別アドバンスコースの開催(教育委員会、専門能力開発委員会)

- ・内容；本コースは、各専門職としての特化した高度な知識あるいは研究の方法を学ぶ場の提供として、3部会がそれぞれ企画開催するコースとなる。2020年度は栄養士・管理栄養士部会主催の以下の企画が開催予定されていたが、COVID-19禍により開催中止とした。
- ・主催；教育委員会、栄養士・管理栄養士部会
- ・テーマ；症例から学ぶリサーチクエスションと研究法
- ・目的；栄養管理の実践力向上とクリニカルクエスション(CQ)を公表、論文に結び付ける力を身につける。
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；【中止】2020年11月
- ・対象者；NST専門療法士有資格者(定員100名予定)

(12)その他前条の目的を達成するために必要な事業

①事業名：総務統括(総務委員会・財務委員会・将来構想委員会)

- ・内容；1) COVID-19禍における本学会全般の事業運営や業務管理に関する対応を行った。
2) 事務局管理・運営に関する業務を行った。
3) 本学会の健全な財務運営を行った。
4) 本学会の将来的な事業などの構想を行った。

○総務委員会

- ・内容；1) COVID-19禍における事務局業務のテレワーク化の実施など含む運営・管理を行った。
2) 適正な会員管理に向けてWEBシステムの機能追加を進めた。
3) 本学会の健全な財務運営や会員サービス向上のため、事務局機能の向上に努めた。
- ・実施場所；メール審議
- ・実施日時；随時
- ・対象者；委員会委員

○財務委員会

- ・内容；本学会の健全な財務運営を行った。
- ・実施場所；メール審議
- ・実施日時；随時
- ・対象者；委員会委員

○将来構想委員会

- ・内 容；本学会の将来に向けての改善点の洗い出しと共有の認識を持つことを目的として、理事会へ以下の提言を行った。
 - ・「第36回学術集会(JSPEN2021)におけるクレジットについて」
 - ・2021年以後のNST 専門療法士受験必須セミナーの実施と将来のオンラインセミナーに関する検討と構築を目的とした「オンラインセミナー構築プロジェクト(P 010)」の設置について
- ・実施場所；メール審議
- ・実施日時；随時
- ・対象者；委員会委員

②事業名：規約整備事業(規約委員会)

- ・内 容；1)学会名称変更に伴う諸規程の変更箇所の確認と改訂作業を行った。
2)各委員会・WG・WT・PT 内規および運営規則類の整備を行った。
3)COVID-19禍による役員選挙の実施方法の変更に伴う定款施行細則における当該規定の改正作業を行った。
- ・実施場所；①メール審議
- ・実施日時；①随時
- ・対象者；①委員会委員

③事業名：代議員・学術評議員選考にかかわる事業(代議員・学術評議員選考WG)

- ・内 容；選出規定に従い、学術評議員申請受付および理事会推薦による代議員申請を実施した。
以上の2020年の申請について、選考WGを開催し、申請書類の審査を行った。
- ・実施場所；①②学会ウェブサイト(申請受付)、③持ち回り委員会
- ・実施日時；①学術評議員：2020年9月1日～年9月30日(申請期間)
②理事会推薦代議員：2020年10月1日～10月31日(申請期間)
③2020年12月(選考WG)
- ・対象者；①②会員、③WG委員

④事業名：臨床栄養代謝に関する研究を実施するにあたっての倫理審査事業(倫理・利益相反委員会)

- ・内 容；本学会会員の倫理的な配慮の認識への啓発と倫理審査の受審についての手続きについて協議した。さらに「臨床栄養代謝に関する研究を実施するにあたっての倫理原則」を策定し、啓発活動に努めた。
- ・実施場所；①持ち回り委員会
- ・実施日時；①2020年12月14日(委員会)
- ・対象者；①委員会委員、会員

⑤事業名：年次学術集会の演題募集時の倫理的配慮に関するチェック(将来的な審査体制の構築を含む)事業(倫理・利益相反委員会)

- ・内 容 ; 一般社団法人日本医学会連合の「研究発表に当たっての倫理ガイドラインの共通化」の推進に伴い、本学会も2021年2月開催の第36回学術集会の演題申込より、応募演題の倫理面でのチェックが済んでいるかどうかの現状調査も含めた確認プロセスを加えることになった。正式な審査体制への移行期間として、本学会の演題申込における倫理的配慮の状況について確認を行うとともに、学会側での倫理審査を希望した演題についてチェックの点から確認を行い第36回学術集会会長へ結果を提出した。外部委員の見解を交え、今後、数年の移行期を経た本学会の年次学術集会および支部学術集会における演題応募時の審査体制の構築に向けて協議を進める。
 - ・実施場所 ; ①メール審議、②第36回学術集会ウェブサイト
 - ・実施日時 ; ①随時、②2020年6月15日～8月31日(第36回学術集会演題登録期間)
 - ・対象者 ; ①委員会委員、会員、②演題登録者で学会側のチェックを希望した対象演題
- ⑥事業名 : 利益相反に関する確認事業(倫理・利益相反委員会)
- ・内 容 ; 役員、発表者のCOI申告に関する確認を行った。また、COI指針、細則などの確認を進めた。
 - ・実施場所 ; メール審議
 - ・実施日時 ; 随時
 - ・対象者 ; 会員、委員会委員
- ⑦事業名 : 新支部制度への移行と支部活動支援事業(支部統括委員会)
- ・内 容 ; 2020年1月1日から一部の支部区分を除き、8支部区分体制へ移行した。支部規則を制定し、支部区分と支部世話人会組織の見直しと再編成のため支部長・世話人会の協力を得て、移行手続きを進めた。各支部会ウェブサイト(<https://www.jspen.or.jp/branches/>)では、支部長・世話人・支部学術集会の情報更新と新支部制度に向けた支部会ウェブサイトのコンテンツ整備を進めた。
 - ・実施場所 ; ①WEB会議、②持ち回り委員会
 - ・実施日時 ; ①2020年11月22日(支部長・支部学術集会会長合同会議)、②随時
 - ・対象者 ; ①②支部長・委員会委員
- ⑧事業名 : 栄養士・管理栄養士部会
- ・内 容 ; 栄養士・管理栄養士部会会議開催(年2回予定)
 - ・実施場所 ; ①東京(学会事務局)、②WEB会議
 - ・実施日時 ; ①第1回 : 2020年1月11日、②第2回 : 2020年11月16日
 - ・検討事項 ; JSPEN2022パネルディスカッションのテーマと担当者の検討、職能別アドバンスコースのテーマと講師の検討、栄養士・管理栄養士部会の活動の方向性 など
 - ・対象者 ; 部会委員
- ⑨事業名 : 薬剤師部会
- ・内 容 ; 薬剤師部会会議開催(年2回)
 - ・実施場所 ; ①第1回 : WEB会議、②第2回 : WEB会議

- ・実施日時；①第1回：2020年9月27日、②第2回：2020年11月29日
- ・検討事項；①第36回学術集会薬剤師部会パネルディスカッション、日病薬病院薬学認定薬剤師制度への対応、静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用に関わる実態調査などの検討
②静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用に関わる実態調査の検討
- ・対象者；部会委員

⑩事業名：看護師部会

- ・内容；看護師部会会議開催(年2回)
- ・実施日時；①第1回：2020年7月5日、②第2回：2020年10月28日
- ・検討事項；2021年第36回学術集会看護師部会パネルディスカッション内容の検討、第36回学術集会に向けた『気づく・繋げる・広げる栄養看護』の第3弾(最終回)の企画、NSTベーシックコース開催事業(教育委員会・職能別活動検討委員会主催)の企画(COVID-19の影響により開催中止) など
- ・実施場所；①②WEB会議
- ・対象者；①②部会委員

IV. 理事会・その他の役員会の開催状況

【定例理事会】

第1回定例理事会	2020年2月26日	国立京都国際会館 1階 104会議室(京都)
第2回定例理事会	2020年3月27日	AP名古屋「P+Qルーム」(名古屋)
第3回定例理事会	2020年9月4日	AP名古屋「Kルーム」(名古屋)／オンライン会議(Zoom使用)
第4回定例理事会	2020年10月9日	AP名古屋「Kルーム」(名古屋)／オンライン会議(Zoom使用)

【臨時理事会】

第1回臨時理事会	2020年2月27日	国立京都国際会館 1階 104会議室(京都)
第2回臨時理事会	2020年5月8日	オンライン会議(Zoom使用)
第3回臨時理事会	2020年11月9日	オンライン会議(Zoom使用)

【持ち回り理事会】

第1回持ち回り理事会	2020年2月8日～12日	メール審議
第2回持ち回り理事会	2020年2月10日～12日	メール審議
第3回持ち回り理事会	2020年2月10日～12日	メール審議
第4回持ち回り理事会	2020年2月11日～21日	メール審議
第5回持ち回り理事会	2020年3月10日～12日	メール審議
第6回持ち回り理事会	2020年3月13日～16日	メール審議
第7回持ち回り理事会	2020年3月16日～18日	メール審議
第8回持ち回り理事会	2020年8月4日～11日	メール審議
第9回持ち回り理事会	2020年8月12日～14日	メール審議
第10回持ち回り理事会	2020年9月11日～18日	メール審議

- 第11回持ち回り理事会 2020年9月14日～18日 メール審議
第12回持ち回り理事会 2020年10月19日～30日 メール審議
第13回持ち回り理事会 2020年11月12日～20日 メール審議
第14回持ち回り理事会 2020年11月16日～25日 メール審議

V. 社員総会の開催状況

第7回定時社員総会

日 時 ; 2020年2月26日 16 : 00～18 : 30、18:30～19 : 00 (名誉会員・特別会員推戴式)

場 所 ; 国立京都国際会館 Room A

社員総数 ; 232名

出席者数 ; 228名 (委任状による出席140名を含む)

- 内 容 ; 1 2019年度事業報告および決算報告の件 : 審議の結果、可決承認
2 2020年度事業計画および予算案の件 : 審議の結果、可決承認
3 第38回学術集会会長選出の件 : 審議の結果、可決承認

VI. 総会・学術評議員会の開催状況

令和2年度(2020年度)総会・学術評議員会は、COVID-19の感染拡大のため、総会・学術評議員会の開催自体を中止とし、過去の出席回数としてもカウントしないことを2020年度第1回定例理事会、第7回定時社員総会において決定した。

以上